



2026 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 リリカラ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 山田 俊之
(コード番号 9 8 2 7)
問合せ先
役職・氏名 取締役専務執行役員コーポレート本部長 平山 雅也
電 話 0 3 - 3 3 6 6 - 7 8 4 5

中期経営計画の進捗および今後の対応について

2026 年 2 月 13 日開催の取締役会において、2024 年 2 月に公表しました中期経営計画の作成時に前提とした事業環境が大きく変化したことから、事業環境の認識及び事業成長に向けた取組みの進捗レビュー等に関しまして下記のとおり実施しましたので、その概要をお知らせいたします。

記

当社は、2024 年 2 月に公表いたしました中期経営計画において、最終年度である 2026 年 12 月期に営業利益 20 億円の達成を目標として掲げてまいりました。

しかしながら、新設住宅着工件数が想定を大きく下回って推移していること、ならびに当社の収益構造上の課題への対応の遅れ等により、現時点における最終年度の業績見通しは営業利益 10 億円程度にとどまる見込みとなっております。中期経営計画を大きく下回る修正となることを、経営として極めて重く受け止めております。

とりわけ、原材料価格や労務費等のコスト上昇への対応力、事業ポートフォリオの最適化、販売体制および生産性向上施策の実行スピードなどにおいて、十分な成果を上げられなかったことが主な要因であると認識しております。

当社といたしましては、今回の未達を単なる外部環境要因として捉えるのではなく、経営の執行体制および意思決定プロセスを含めた構造的課題として真摯に受け止め、抜本的な改革に着手してまいります。

具体的には、

- ・ 固定費構造の見直しおよび徹底した生産性向上
- ・ 利益率を重視した事業ポートフォリオの再構築
- ・ 販売体制改善および生産性向上施策のスピード感ある実施
- ・ 経営体制の在り方の検証および機動的な組織運営の実行

等を速やかに推進してまいります。

なお、株主還元につきましては、配当方針を維持する考えであります。財務健全性とのバランスを踏まえつつ、持続可能な利益体質の確立を最優先課題として取り組んでまいります。

以 上